

# BSJNUニュース (20100525)

## 腎不全腹膜透析セミナー (Baxter Scientia Japan at Nagoya University; BSJNU) の第一回基礎コースを開催して

### ■設立主旨

日本における末期腎不全治療の選択肢として認知される腹膜透析療法は、この分野の臨床医、コメディカルらの努力により在宅医療として育まれてきました。また、近年、日本透析医学会より、その治療ガイドラインが提示され注目を集めるところでもあります。しかし、この分野の教育、研究、臨床トレーニングの機会は、体系的なものとして医学部教育に組み込まれていないのが現状であり、腹膜透析療法にかかわる医療従事者の育成輩出が大きな課題となっています。

この状況への対処として、生物医学分野のリーディングカンパニーである Baxter International Inc. の日本子会社であるバクスター株式会社の協力を得て、名古屋大学大学院医学系研究科寄附講座「腎不全総合治療学講座」において International Baxter

Scientia, Baxter Scientia Japan at Nagoya University (以下「BSJNU」) を設立致しました。本プログラムを通して臨床医、コメディカルに対する腹膜透析の教育、研究、臨床トレーニングが推進され、微力ながら、日本の腹膜透析医療の健全な普及の一助となればと、考えております。



名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科学教授、腎不全腹膜透析セミナー (BSJNU) Program Chair 松尾清一

### ■3月18日～19日開催の腎不全腹膜透析教育セミナー (BSJNU) (基礎コース) ■

去る3月18日～19日の一泊二日で、BSJNUの基礎コースの第一回が、開催されました。この基礎コースは、下記の項目について、学外講師としては、本会のスーパーバイザーでもある神奈川県立汐見台病院顧問 (東京慈恵会医科大学腎・高血圧内科客員教授) 川口良

人先生、貴友会王子病院院長 (順天堂大学客員教授) 窪田実先生、聖路加国際病院腎臓内科部長 (千葉大学臨床准教授) 小松康宏先生をお迎えして、合わせて、伊藤恭彦、伊藤功、水野正司の学内講師により、行われました。

#### 1. 腹膜透析の現況と問題点

2. 腎代替療法の選択；包括的腎不全治療におけるPD療法
3. 腹膜の解剖・生理と腹膜透析の原理・治療
4. 腹膜透析の選択と透析
5. 適性透析、患者管理
6. 機器の取り扱い
7. PD関連合併症（1）；限外濾過不全、透析不足、EPS 予防
8. カテーテル留置術と合併症；手術原則、術前の処置、カテの種類、手術手技、合併症とその対応
9. PD関連合併症（2）；カテーテル関連トラブル、出口部変更術
10. PD関連合併症（3）；腹膜炎、出口部感染（内科的）

11. PD 関連合併症（4）；横隔膜交通症、ヘルニア、血性排液、乳び腹水等
12. 症例検討；PD 処方はどうきめるか、腹膜炎、出口部感染の治療

参加者の先生方は、日本全国、北は北海道の帯広、南は鹿児島からであり、経験豊かな先生から、腹膜透析の経験の少ない方まで、経験の差はありましたが、熱意あふれる受講生の方がお集まりになり、皆様とても熱心に受講していただきました。参加者も12名と少数精鋭で、講義に集中していただけたと考えます。講義の内容は、腹膜透析に関するエッセンスからコツまでを広く、講師の先生より、伝授していただきました。2日目の終了時には、修了証書が一人一人手渡され、講習会は終了しました。



（第一回基礎コース講習会の様子）



（第一回基礎コースの講習講師陣）

### ■基礎コース参加の受講者の声■

1. 川崎市立井田病院 内科部長 竜崎崇和先生（2010年度BSJNU 基礎コース（3/17-18）受講）

大変よく練られた内容構成であり、全くの初学者から、私のようなベテランまで誰が受講してもためになる内容でした。当初は、PD経験20年以上である私が受講するのは少々躊躇されたのですが、若い先生たちがどのようなところに疑問を持っているかを探りたくて受講しました。しかし、そんな余裕は無く自分のためにノートをとることで精一杯でありました。基礎から、

明日からの臨床で役だつコツまで、広く・深くお教えいただけだと思います。長い経験をお持ちの先生でも、きっと基礎的なところは抜け落ちていることもあるでしょう（実際、私は嫌いなところは全く抜け落ちていることに気づきました）。基礎から学び直すのには最適です。モチベーションが高まります。私も手術に入ったことはここ15年無かったのですが、手術に手洗いし

て入り始めました。やさしく丁寧にお教えいただける有名講師の方々ともお近づきになれます。この出会いの中から、実際の臨床で困っていることがあったら答えていただけるかもしれません。日本全国いろいろな地域からいらしている新たな友達の実情を聞き、自分の境遇を振り返るといよいよ機会でもありました。日本の医療

を考える機会にもなりました。私は疲れてすぐに寝てしまいましたが、夜のコースもあったようです?? 次回は夜のコースも参加するぞー!! また、アドバンスドコースでお会いしたいです。最後に、名古屋大学のスタッフの皆様、講師の先生方、本当にお世話になりました。

## 2. 聖路加国際病院 ヒース 雪先生 (2010年度BSJNU 基礎コース(3/17-18)受講)

3月のBSJNUに参加させていただきました。現在、聖路加国際病院では常時20名以上の腹膜透析患者さんがおります。私の腹膜透析患者診察歴は約1年半です。このタイミングで受講させていただけたことは本当にラッキーでした。臨床に、翌日から役立つ知識を一気に系統だって学ぶことができ、今まで疑問に思っていたことや、基礎の大切な知識が診療の血肉となって

いるのを日々の診療で体感しております。また、少人数だったため、自由に質問もでき、日ごろの疑問もほとんど聞くことができました。関係者の皆さん、本当にありがとうございました。現在、CKD 保存期管理の一環としてのincremental PDに挑戦中です。東京の地でPDをリードすべく頑張っています!

## 3. 三重県 HT 先生 (2010年度BSJNU 基礎コース(3/17-18)受講)

私は平成22年3月18、19日に開催されましたBSJNU 基礎コースに参加させていただきました。実は昨年PD universityにも参加させて頂いていたので、比較的似た内容になるのかなと思っていました。確かに川口先生・窪田先生・小松先生のセッションの題名はPD universityの時と似ていましたが、内容は最新の知見が加わりblush upされており、また実際の症例が多数追加されており大変分かりやすかったです。

自分としては伊藤先生や水野先生が担当された「PD 関連合併症」や「腹膜炎、出口部感染の治療」のセッションが、臨床でよく遭遇するトラブルの具体的な対処法への理解を深めることができたので大変有意義でした。また色紙を使ったクイズ形式のコーナーもあって面白かったと思います。

今回はPD universityの時と比べ、受講生が

12名と比較的少数で、また会場も狭めであったためアットホームな雰囲気や質疑応答が活発に行われ、とてもいい雰囲気だったと思います。今回のセミナーはPDの基礎からエビデンスに基づく実際の治療・トラブルシューティングに至るまで網羅されており大変勉強になりました。またなによりも「PDをもっと多くの人に広めたい、そのためにはPDを実践する良医を育成したい」という講師の先生方の熱意がひしひしと伝わり感銘を受けました。

若手の腎臓内科医はPDへの苦手意識の脱却やより深い理解のため、今後このBSJNU 基礎コースに参加するべきではないかと思っています。

私も微力ながら今後積極的にPD普及に努めていけたらと改めて思いました。ありがとうございました。

## 第一回 腎不全腹膜透析オープンセミナー (BSJNU) を開催して

BSJNU の基礎コース・アドバンスコースは少数で行われる教育コースであるのに対して、本オープンセミナーは自由参加となっており、広くコメディカルまでの教育を目的として年 2 回の開催を予定しています。

去る 4 月 24 日、第一回セミナーが開催され、以下の講師の先生方による講演が行われました。

- 1: 神奈川県立汐見台病院顧問 (東京慈恵会医科大学腎・高血圧内科客員教授) 川口良人先生「腹膜透析の話題と今後の課題」
- 2: 岡山大学大学院医歯学総合研究科慢性腎

臓病対策腎不全治療学教授 杉山斉先生

「PD を如何に成功させるか、糖尿病腎症の PD 治療」

3: 名古屋大学大学院医学系研究科腎不全総合治療学教授 伊藤恭彦先生

「PD 関連感染症の診断とその対策」

4: 埼玉医科大学総合心療内科教授 中元秀友先生「PD 導入期から維持期の治療、CAPD ガイドライン 2009」

当日は、コメディカルの方も含めて 100 人を超える多数の方々に御参加いただきました。

### 今後の予定

7/3 (土)	腎不全・腹膜透析オープンセミナー	2010 年 第 2 回
8/19 (木) -20 (金)	ベーシックコース	
9/16 (木) -18 (土)	アドバンスコース	
9/18 (土)	マネジメントコース	
10/28 (木) -29 (金)	ナースコース	
11/11 (木) -12 (金)	ベーシックコース	
12/2 (木) -4 (土)	アドバンスコース	